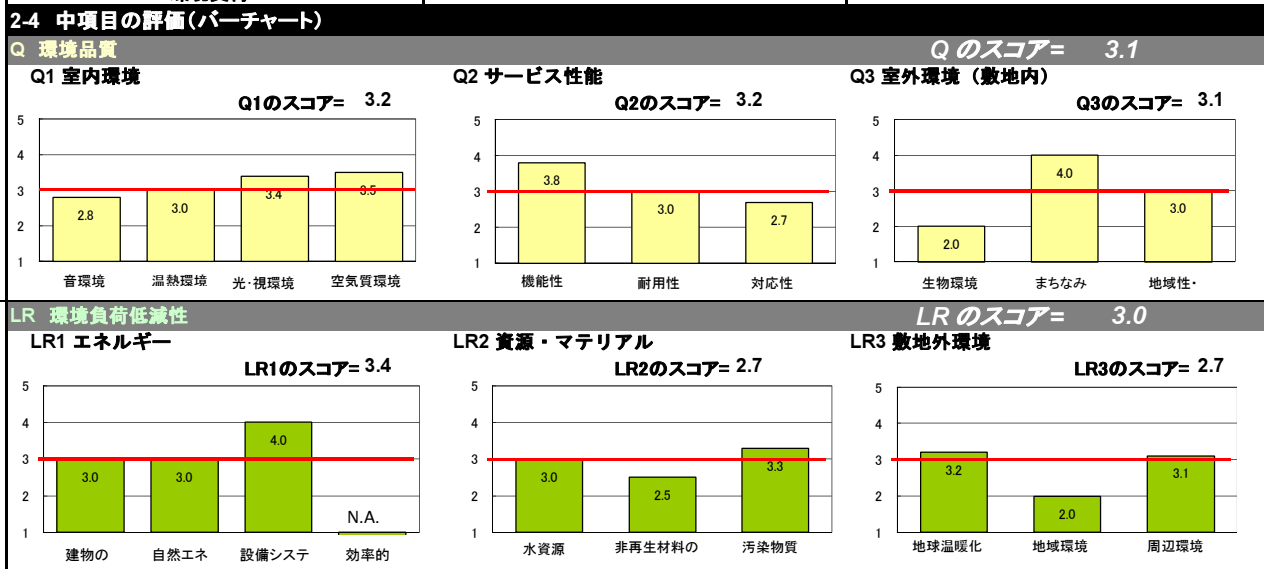
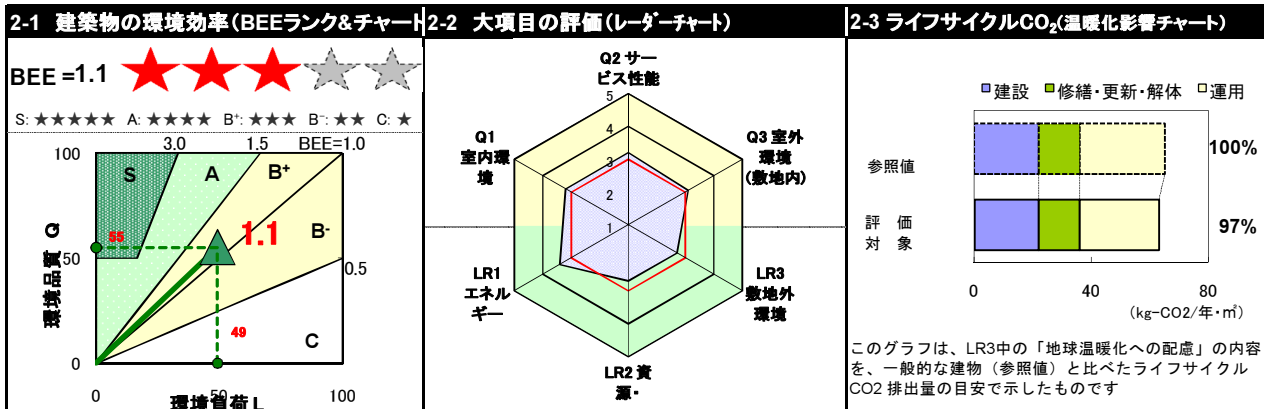


1-1 建物概要			1-2 外観
建物名称	(仮称)京都市伏見区深草柴田屋敷	階数	地上7F、地下1階
建設地	京都府京都市	構造	RC造
用途地域	準防火地域	平均居住人員	4人
気候区分	地域区分Ⅳ	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2011年12月 予定	評価の実施日	2011年1月24日
敷地面積	2,747 m ²	作成者	
建築面積	1,411 m ²	確認日	
延床面積	6,449 m ²	確認者	



3 設計上の配慮事項		
総合 京都の町並みに配慮した外観や内観を提案。		その他 複層ガラスを使用し、断熱性と気密性を向上させている。
Q1 室内環境	Q2 サービス性能 バリアフリー新法の建築物移動円滑化誘導基準を満たしている。	Q3 室外環境(敷地内) 空地面積の15%以上を緑化している。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル 接着剤等にF☆☆☆☆を多く使用している。	LR3 敷地外環境 屋外広告物等がないため、光害が少ない。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される